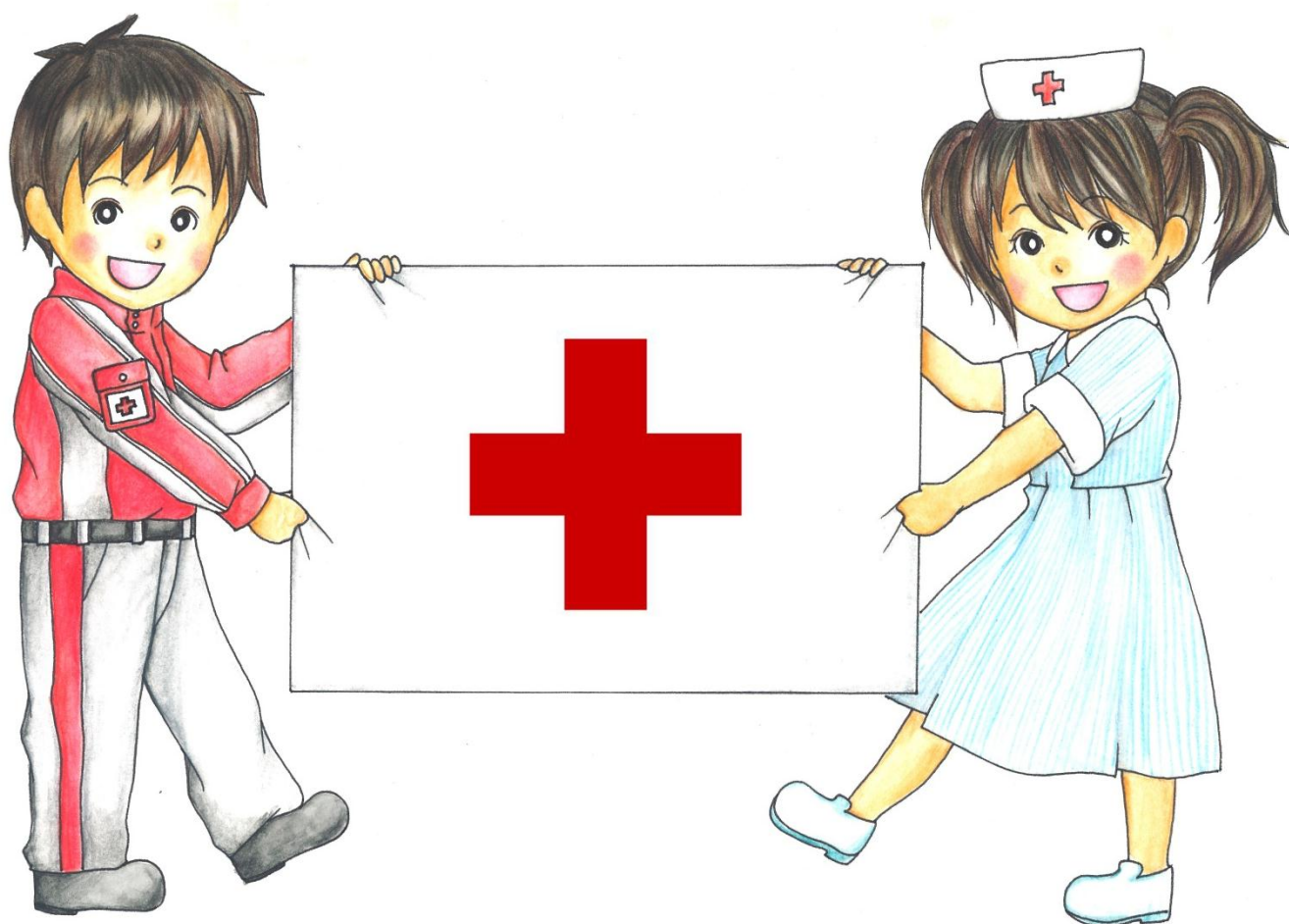


赤十字奉仕団情報誌

# がんばり！！

NO. 21 (平成24年度号)



絵：C. Miyaiima

# 東日本大震災被災者支援

新潟県内には、いまだに多くの方々が避難されています。県内それぞれの地域において、赤十字奉仕団が各市区町村や地域団体と協力して支援イベントなどを実施しました。

## 〇しおがま花絵プロジェクト

（平成24年4月28日（土）～29日（日）新潟市東区及び宮城県塩釜市）

「花絵で被災者を元気づけたい」という塩釜市からの協力依頼を受け、新潟市東区で材料となるチューリップを摘み、塩釜市のマリンゲート塩釜において花絵を制作しました。

＜新潟市東区河渡でチューリップの花摘み＞



＜マリンゲート塩釜において花絵制作＞



## 〇ふれあい交流会

（平成24年6月30日（土）燕市）

絆を深めてもらうことを目的に、燕市と奉仕団が協力して、県内に避難されている方々と県民との交流会（運動会）を実施しました。

＜準備体操＞



＜大玉はこびりレー＞



＜希望の玉入れ＞



＜昼食のカレーライス＞



## ○クリスマス・餅つき大会

（平成24年12月23日（日・祝）上越市）

上越市及び日赤上越市地区が主催し、奉仕団や地域団体が協力して、「粘り強く」の思いを込めた餅つき大会を実施しました。

＜臼と杵を用いたお餅つき＞



＜赤十字キッズフォトコーナー＞



＜風船くじ＞



＜上越市長もつき立てのお餅を試食＞



# 奉仕団活動報告

新潟県内では、75団（127分団）7,732名の奉仕団員が活躍されています。  
今年度に活動された事例を報告します。

（平成24年3月31日現在）

## ○糸魚川市能生地区赤十字奉仕団（48名 委員長：岡本直子）

### ●健康生活支援講習と視察研修

（平成24年10月26日（金）糸魚川市・11月16日（金）長岡市・小千谷市）

健康生活支援講習を通して、団員のスキルアップを行いました。また、視察研修として、中越メモリアル回廊（きおくみらい・妙見・小千谷そなえ館）を訪問し、震災の記憶と復興の軌跡にふれることができました。



## ○佐渡市赤十字奉仕団（291名 委員長：松永兼春）

### ●中学生佐渡地区青少年赤十字トレーニング・センター（サマーキャンプ）

（平成24年7月30日（土）～31日（日）佐渡市畑野）

子どもたちに赤十字の思いや生きる力を身に付けてもらうことを目標に、毎年、学校と協力し開催しています。



\*青少年赤十字トレーニング・センターは、小中学生を対象に、計8回県内の各会場で開催し、上中下越の奉仕団の方からご協力いただきました。

## ○新潟県赤十字安全奉仕団（19分団 1,130名 委員長：樋浦三男）

### ●救急の日2012

（平成24年9月9日（日）イオン新潟南：新潟市江南区）

救命手当の方法について、市民への正しい理解と認識を深めるために、新潟市消防局と合同で「救急の日2012」を開催しました。



## ○新潟県青年赤十字奉仕団連絡協議会（7奉仕団404名 会長：齋藤玄）

### ●福祉・介護・健康フェア2012

（平成24年11月18日（日）朱鷺メッセ：新潟市中央区）

福祉に関する県民の理解と関心を高めるため、新潟日報と社会福祉協議会が開催し、会場で青年奉仕団と日本アニメまんが専門学校生が活動しました。



# 新潟県支部主催研修会報告

## ○赤十字ボランティア基礎研修会

平成24年5月から7月かけて、赤十字奉仕団に加入して間もない人を対象として『災害時の対応』をテーマに“赤十字とは”“奉仕団活動は、何をしたらいいのか”など、講義・実践を含めて、県内4地域を会場に開催しました。今年度も計100名以上の方に参加いただきました。

## ○赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会

平成24年10月末に上越市ホテルハイマートを会場として『災害時の対応』をテーマに“赤十字奉仕団のリーダー”“よいグループ運営とはどういったものなのか”など、講義・実践を含めて、リーダーシップ研修会を開催しました。

毎年1回開催し、今年も県内全域から40名を超える奉仕団員に参加いただきました。



### <基礎研修>

- ・赤十字とは
- ・ボランティアとは
- ・東日本大震災活動報告
- ・グループワーク「災害時にできること」

○災害時に身を守り、共助の方法などについて、グループワークを通じて研修しました。

### <リーダーシップ研修会>

- ・グループとは
- ・リーダーとは
- ・グループワーク「災害で生かす奉仕団の力」
- ・グループワーク「奉仕団を元気にするためには」

○平時や災害時に奉仕団が活動できることについて、グループワークを中心に研修しました。

## ★平成25年度 奉仕団関係のお知らせ★

### ○赤十字ボランティア基礎研修会

赤十字全般の基礎的な知識を理解し、赤十字ボランティアとして今後の活動に必要な心構えを学ぶとともに、同じ地域内の他奉仕団員との交流するための研修会です。

- ・下記の日程、県内5会場で開催します。

5月18日（土）下越会場：未定

5月19日（日）上越会場：上越市春日謙信交流館

5月25日（土）佐渡会場：アミューズメント佐渡

6月 1日（土）中越会場：長岡赤十字病院講堂

6月 2日（日）新潟会場：新潟県赤十字会館

### ○赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会

奉仕団活動が主体的に実践できるように、県内の他奉仕団員との交流を図り、グループやリーダーの役割を理解し、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、団員にも伝達できるような技術を研修するための研修会です。

- ・下記の日程、地域で開催します。

8月24日（土）～25日（日）下越会場：未定

### ○東日本大震災避難者支援事業助成金を新設しました。

平成25年度も東日本大震災を受け、県外から避難されている避難されている方に対して、赤十字奉仕団が市区町村、地区分区や地域活動団体など共同して、継続的な復興支援活動を推進するために設置しました。

助成金の額は、1 市区町村域における事業につき10万円を限度としています。

赤十字奉仕団が地域ニーズや実情を踏まえた活動を推進できるよう、「地域活動奨励事業助成金」と併せて、積極的な活用をお願いします。

## ★支部からのおねがい★

### ○報告書の提出について

赤十字奉仕団活動実施計画書や報告書、現況報告書の提出をお願いします。支部が、みなさんの活動を知り、多くの人へ広報する資料になります。忘れずに提出ください。

### ○ボランティア保険への加入について

万が一の備えとして、活動中の急激かつ偶然な事故でケガをされた場合や他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたりしたことへの保険として加入をお願いしています。

## 赤十字 4コマまんが



## あ と が き

日頃より、赤十字事業にご支援をいただき、ありがとうございます。

赤十字奉仕団の活動は、人間として、誰もが共鳴できる活動です。

今年度は、東日本大震災を受けられた方への支援など各地域において、多種多様の活動を行っていただきました、ありがとうございました。

また、地域に根差した活動を通じて、赤十字の活動を広め、奉仕団のみなさまとともに、人びとがつながり、生きがいを持てるような社会の構築し、赤十字の目指す人道の実現につなげていきたいと考えています。

私たち新潟県支部職員も人道の実現に全力を注いでまいります。奉仕団の皆様にもさらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

新潟県支部 事業推進課

絵：@CHIIHIRO.

「がんば!!」編集局では皆さんからの情報をお待ちしています。  
日常の活動やイベントがありましたら、編集局までお寄せください。  
取材へも赴かせていただきますので、ぜひ、ご連絡をお願いします。

奉仕団情報誌「がんば」No.21

平成 25 年 2 月 28 日 発行

発行 日本赤十字社新潟県支部 事業推進課

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町 1-3-12

Tel. 025-231-3121 Fax. 025-231-3122

Mail. y-mashima@niigata.jrc.or.jp

